

特別講座

# 琉球遺骨返還請求訴訟—継続する植民地主義を問う!



私たち「結ぶ会」は、辺野古埋め立て反対の取り組みを進めながら、琉球遺骨返還請求訴訟にも注目し、「訴訟を支える会・関東」の結成に参画してきました。今回はこの琉球遺骨返還問題で何が問われているのか、みなさんと一緒に学び、考えるための「特別講座」を企画しました。

## 《参加は事前予約制です!》

★新型コロナ対策で入場は先着 70 人に制限します。事前予約制ですので、氏名・電話番号を明記し、メールか電話(ショートメール)で申し込んでください。定員になり次第締め切ります。

▶予約先 [fukafuka60@gmail.com](mailto:fukafuka60@gmail.com) または 090-4822-4798 深沢

\*電話はつながらない場合が多いのでメールかショートメールをお願いします。

琉球遺骨返還請求訴訟とは?・・・1928年から29年にかけて、京都帝国大学(現京都大学)の金関丈夫助教授は、琉球(沖縄)今帰仁村の百按司(むむじやな)墓から遺骨を盗み「研究材料」として大学に持ち去りました。2017年、新聞報道でこの事実を知った子孫らが京都大学に確認しようとしたが、京大は一切答えようとしませんでした。2018年、百按司墓の祭司継承者ら5名が遺骨の返還を求め、京都地裁に提訴しました。

★発熱等体調がすぐれない方は来場を控えてください。会場内では、マスクは必ず着用してください。

★感染が急拡大し会場が閉鎖され中止となる場合がありますので、事前に会場(開港記念会館)までご確認ください。

# 7月16日(金) 18時半-20時

## 横浜市開港記念会館1号室

(JR 関内駅南口 10分、みなとみらい線日本大通り駅①出口 1分)

◆講師 **上村 英明 さん**(恵泉女学園大学教授)

◆資料代 700円(学生無料) ◆定員 70人(予約制)



▲上村英明(うえむらひであき)さん・琉球人遺骨返還請求訴訟を支える会/関東共同代表。アイヌ民族や琉球民族の先住民族としての国連活動を支援している市民外交センター共同代表。『北の海の交易者たち—アイヌ民族の社会経済史』(同文館、1990)『新・先住民族の「近代史」—植民地主義と新自由主義の起源を問う』(法律文化社、2015)他著書多数。



主催: 島ぐるみ会議と神奈川を結ぶ会

★代表世話人: 仲宗根保(鶴見沖縄県人会元幹事長)・高梨晃嘉(元横浜市議)

★連絡先: 090-4822-4798 深沢(沖縄講座@横浜)